

# 平成26年度匝瑳市健康づくり推進協議会議事録

平成26年10月23日(木)

13時30分から14時12分まで

匝瑳市保健センター集団指導室

[出席委員] 9人

江波戸 久元、江波戸 寛、野田 秀平（代理 小俣 勇）、小川 雅章

安藤 建子、那須 章典、大海原 祥榮、八角 勝義、鶴野 航三

[欠席委員] 4人 小川 博之、菊地 紀夫、池田 竹四、磯部 範夫

[事務局] 平山新治課長、戸嶋えみ子主査、太田康隆主査補、大木弘美主任保健師

白鳥由美子保健師、畑中宏美看護師

1 開会 事務局

2 委嘱書交付

3 委員自己紹介

4 会長選出について 江波戸久元会長が選出される。

5 会長あいさつ

6 議事 議長 江波戸久元会長が議長となる。

(1) 匝瑳市新型インフルエンザ等対策行動計画（素案）について

(資料1)

(2) がん対策推進のための標語について（資料2）

(3) その他

議長 会議の成立を宣言

(1) 「匝瑳市新型インフルエンザ等対策行動計画（素案）について」

事務局から説明

【質疑・意見】

<議長>

今後、対策マニュアルが作成されると、連絡網なり具体的になれば構図が見えてくると思う。それでは、この件について質問を受け付ける。

<委員>

今は、鳥インフルエンザ発生状況が海外から入り始めている状況である。前回はメキシコで豚インフルエンザ発端となるなど、今後も様々な情報の共有化が必要だと思う。

この行動計画に問題はないと思う。今後作成するマニュアルでは、市内部・県関係機関・医師会等関係機関との連携をどのように保っていくかが非常に重要になると思うので、よろしく願います。

<議長>

事務局、この点についてはどうか。

<事務局>

関係機関と連携を図れるよう調整させていただく。

海外ではエボラ出血熱が、国内ではデング熱が発生している。エボラ出血熱は人から人への感染であり、現在は国として水際対策を行っている状況であり、市が対策を行う状況ではない。エボラ出血熱に予防ワクチンはないが、今後、国から随時対処方針がでると思うので行動計画と照らし合わせ行動していきたい。また、そのようになった場合は、関係機関に願いますことになると思うのでよろしく願います。

<議長>

議題(1)の「匝瑳市新型インフルエンザ等対策行動計画（素案）について」承認していただける方は、挙手をお願いします。

<議長>

挙手全員であるので、議題(1)は、このとおり承認することとする。

(2) 「がん対策推進のための標語について」

事務局から説明

応募総数136作品、健康管理課で絞った9作品と委員の選考した作品から最優秀賞1作品、優秀賞1作品、佳作2作品を決定する。

【質疑・意見】

<議長>

選考は投票の多い順でよろしいか。

<委員>

賛成との意見あり。

<議長>

投票数順に、最優秀賞1作品、優秀賞1作品、佳作1作品を発表する。

佳作について、もう1作品を選考したい。

<委員>

佳作は、少し砕けた感じのものも良いのではないか。「ガ〜ンとなる前に がん検診」はどうか。

<委員>

標語なので、言葉が口をついて出るようなものが良いのではないか。

選ぶのは、難しい。

<議長>

私が周りに聞いたところでは「備えよう 先ず検診で がん予防」が多かった。

<委員>

「ガ〜ンとなる前に がん検診」はインパクトがあり良いと思うし、「備えよう 先ず検診で がん予防」は、言葉の流れが非常に良いと思う。

<委員>

言葉を少し変えることはできるのか。

<事務局>

原則的には、そのままとしたい。

<委員>

4作品全部を横断幕にするのか。

<事務局>

最優秀作品のみである。

<委員>

「ガ～ンとなる前に がん検診」が異色で良いのではないか。

<議長>

では、「ガ～ンとなる前に がん検診」でよろしいか。

<委員>

賛成との意見あり。

<議長>

議題(2)の「がん対策推進のための標語について」は、

最優秀賞「ガン検診 受けて安心 私の未来！」

優秀賞「今行こう 未来のためのがん検診」

佳作「がん検診 受ければ匝瑳市 長寿の市」

佳作「ガ～ンとなる前に がん検診」

以上に、決定してよろしいか。

<委員>

全員賛成。

<議長>

賛成全員であるので、決定とする。

(3) その他 なし

7 閉会 事務局